

## 令和5年度(2023年度)日本肺高血圧・肺循環学会 第2回理事会 議事録

日時：2023年12月12日(火) 19:00-21:00

場所：Zoom 開催

出席理事：渡邊裕司、桑名正隆、福本義弘、江本憲昭、大郷剛、荻野均、片岡雅晴、伊達洋至、  
田中住明、田村雄一、辻野一三、土井庄三郎、福田恵一、安岡秀剛、山岸敬幸  
(計15名)

第10回学術集会会長：田邊信宏

出席監事：瀧原圭子

欠席理事：伊藤浩、小垣滋豊、近藤康博、鈴木拓児、室原豊明、安田聡(計6名)  
(敬称略)

資料

会議中、画面共有機能で確認した。

### 1. 開会

### 2. 前回議事録の確認

渡邊理事長より、瀧原監事署名済み・ホームページに掲載されている旨、案内があった。

### 3. 報告事項

#### ①第8回学術集会開催報告 (江本憲昭会長)

2023年6月3日(土)～4日(日)

会長：江本 憲昭(神戸薬科大学 臨床薬学研究室/  
神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

副会長：田邊 信宏(千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター/  
千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学)

三谷 義英(三重大学医学部附属病院 周産母子センター)

新家 俊郎(昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門)

吉藤 元(京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学)

会場：神戸国際会議場

事務局：神戸薬科大学 臨床薬学研究室

- ・参加者626名、海外参加者4名。対面で盛大に開催された。
- ・決算は最終段階、あと2週間ほどで確定予定である。

#### ②第9回学術集会準備状況 (福本義弘会長)

2024年8月9日(金)～10日(土)

会長：福本 義弘(久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門)

副会長：塩瀬 明(九州大学大学院医学研究院 循環器外科学)

田中 良哉（産業医科大学医学部第1内科学）

山岸 敬幸（慶應義塾大学医学部小児科）

会場：久留米シティプラザ

事務局：田原 宣広（久留米大学病院 循環器病センター）

- ・プログラム委員の先生方の協力により、多くの特別講演、シンポジウム等を企画している。
- ・座長・演者は指名が多いが、一部公募もある。年明けを目処に諾否の連絡をする予定である。
- ・一般演題は2月から公募開始する。
- ・協賛11枠を目標、現在7枠申込みがある。

#### 4. 審議事項

##### ①新理事候補者の選出について

（前回理事会より）2024年4月1日からの新事業年度では、伊藤理事、荻野理事、土井理事、福田理事、渡邊理事長の5名が定年退任される。5名以外の現理事は理事継続の意思を確認できている。

（理事選出の経緯）学会発足時の「ありがた委員会」により、理事は領域別に選出している。

1) 新理事候補として、評議員より以下の4名が推薦された。

循環器内科：東海大学 医学部基盤診療学系 村田光繁先生

外科：千葉県済生会習志野病院 石田敬一先生

小児科：東邦大学大森病院 高月晋一先生

基礎：国立循環器病研究センター研究所 中岡良和先生

2) 領域枠について…今後検討する。

- ・将来的には肝臓内科領域の先生が入った方が良い。
- ・会長経験者枠については、現在は必要に応じて調整できる扱いである。
- ・今後少なくとも1名女性とするダイバーシティ枠の増設について、賛同された。まずは評議員に、活躍されている女性の先生を推薦いただく必要がある。

3) 理事の選出プロセスについて…今後検討する。

将来的には立候補制が望ましい、多領域のバランスを考慮した立候補・推薦が重要である。

今回は時間的制約の関係上、推薦された4名に立候補の意思を確認し、立候補いただけたら所信表明・略歴・業績等を提出いただき、理事会にて決定する。

次回の理事会では年度内に新理事会を開催し、新理事長を決定する。新理事長を決定次第、事務局業務の引き継ぎを開始する。

##### ②会則の改定について

1) 以下の改定が実施された。

第4章 第19条 役員の任期

（改定後）選任後2年以内に終了する事業年度の末日までとする

第4章 第15条 役員

評議員に65歳定年の制限を設けたことを受けて、功労会員を改訂・名誉会員を新設した。

（改定後）

功労会員 原則として学会活動に貢献し定年退任した評議員  
名誉会員 原則として定年退任した本学会理事

2) 「理事の選任」の改定

今回は実情との乖離を解消するため、細則の改定を行うことが承認された。

会則施行細則第2号 第3条 理事の選任

(改定前) 理事の選任に関しては、総務委員会で推薦し総会で決定する。

(改定後) 新任理事の選任に関しては、理事が推薦し理事会で決定する。

③ 学会賞（八巻賞・学会奨励賞・Jamieson CTEPH Award）の応募用紙変更について

これまでの郵送による書類提出から、応募フォームでのアップロード方式に変更することが承認された。  
2024年度応募から変更する。

④ 日本新薬寄附金について

日本新薬社より提案があった寄附金（100万円。内容によって増額可能）について、  
留学支援プログラムを設立し、来年度より寄附を受ける方向で検討・調整している。

⑤ 日本肺高血圧・肺循環学会臨床研究留学支援プログラムについて（田村理事）

臨床研究支援プログラムの提案説明があり、承認された。

・日本新薬社からの寄附金および JAPHR からの支援金をプログラム資金とする。

・キャリア形成支援として年間 400 万円を拠出し、1 名に授与。

・他団体との重複の応募は妨げない予定。

・選考委員はメンターとなり留学支援・あっせんなども実施を想定。

・選考スケジュール： ※初年度は後ろ倒しになる可能性あり。

1 月 応募

2 月 書類審査

3 月前半 WEB 面接審査

3 月末 理事会で承認

・肺高血圧症に関連する臨床研究には TR 等（心エコー・リハビリ・BPA・A I 研究等）を含めた形を  
想定、学会員を対象とする。

⑥ 事務局業務の一部をレタープレス社へ委託することについて

繰越金および年間収入をもとに、事務局機能の一部をレタープレス社に外部委託することが承認された。  
事務局が移転しても、事務局業務の継続性を維持することが目的である。

⑦ 肺高血圧診療を受けられる施設について

学会ホームページの「肺高血圧診療を受けられる施設紹介」について、JAPHER からデータ提供を受けて更新されるため、タイムラグ（不一致）がある。JAPHER のページにリンクした方が最新の情報を提供できる。

・施設紹介に対する問い合わせもあり、JAPHER と一致している方が混乱を招かない。

・施設紹介を廃止する方法もあるが、患者さんが診療実績のある施設を知りたい場合には役立っている。  
JAPHERへ直接リンクする対応について承認された。  
「小児肺高血圧症の診療施設」については、完全に JAPHER に一致していない（先天性心疾患を伴う肺高血圧症）ため、小児領域の先生方と相談し、今後の検討とする。

## 5. その他

### ① ステートメントの発出

片岡理事の尽力により、ステートメント「ESC/ERS による PH 定義変更と指定難病 PAH、CTEPH、PVOD/PCH 認定基準の乖離について」が発出され、学会ホームページに掲載されていることが報告された。

### ② 日本小児肺循環研究会合併後の日本肺高血圧肺循環学会と、日本小児循環器学会の連携について（山岸理事）

以下の2点について、承認された。2) は第9回学術集会プログラムで企画可能。まずは会員を対象に進める方向で、企画する。

1) 日本肺高血圧肺循環学会の出席により、日本小児循環器学会「小児循環器専門医」の単位を取得できるように整備。

…かつて日本小児肺循環研究会は日本小児循環器学会の分科会だったため、8単位を取得することができた。今後はよく連携する学会「5単位」を取得できるように働きかける。

2) 日本肺高血圧肺循環学会における、日本小児循環器学会とのジョイントセッションを設置。

…覚書等を準備していく。

### ③ 第11回学術集会の会長について

小垣滋豊先生に決定したことが報告された。

### ④ サウジアラビアからの招聘（福本理事）

17th Annual Conference of the Saudi Association for Pulmonary Hypertension (SAPH2024) Riyadh Marriott Hotelにて2024/2/15-17開催

2月17日の国際セッションでの発表依頼があった。

“Current Status of PH Management in Japan”

(発表15分、質疑応答5分。交通費・宿泊費は主催負担)

興味がある方は福本理事へ連絡する。

### ⑤ 7<sup>th</sup> World Symposium on Pulmonary Hypertension について（田村理事）

Abstract submission 募集(1/9〆切)・参加登録が始まっている旨の案内があった。

会員一斉メールで周知する。

## 6. 閉会

以上

日本肺高血圧・肺循環学会

理事長

渡邊 裕司

議事署名人 (監査)

龍原 圭子